

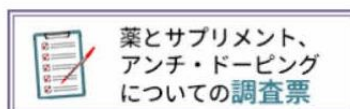


アンチ・ドーピング啓発活動を実施しています！

ドーピングは、スポーツのフェアプレイ精神に反し、競技者の健康を損ね、薬物の習慣性から社会的な害を及ぼすばかりか、人々に夢や感動を与えるスポーツそのものの意義を失わせ、国民の健康的な生活や未来を担う青少年に対して悪影響を及ぼすものである。



アンチ・ドーピング専用バナー



Webアンケート専用バナー

本協会では、アスリートをはじめスポーツに関わる全ての方にアンチ・ドーピング活動について正しく理解してもらうことを目的としてアンチ・ドーピング啓発活動を実施しています。アンチ・ドーピングリーフレットの作成・配布・掲載をはじめ、スポーツファーマシスト協会と連携し、薬やサプリメントに対する相談窓口の設置や、競技団体を対象にした「アンチ・ドーピング研修会」等を実施しています。これらのアンチ・ドーピングの取り組みに関する情報は本協会ホームページの専用バナーをクリックしてご覧になれますので、ぜひ御確認ください。

また、本協会では、国民体育大会に出場する本県すべての選手および監督を対象に、「薬とサプリメント、アンチ・ドーピングについてのアンケート調査」を実施しています。今年度は、回答形式を紙媒体から Web 入力フォームに変更し、より手軽に、より多くの選手及び指導者が回答できるよう工夫しました。このアンケートは、回答しながらアンチ・ドーピングに対する意識の涵養をはかるとともに、本県アスリートの実態把握に努めることを目的としており、本協会 HP の専用バナーから回答いただけます。

令和5年度開催の国民体育大会（※2024年開催の第78回大会からは、「国民スポーツ大会」と名称変更）から、アンチ・ドーピング教育が義務化されることとなりますので、本協会でも今まで以上に啓発活動に力をいれて参ります。

（※講師を派遣してのアンチ・ドーピング研修会の実施を希望する競技団体については、専用ページから各種様式を記入してお申し込みください。）

令和4年度の「アンチ・ドーピング研修会」の様子を紹介します！

令和4年5月5日（木）に、福島県アーチェリー協会の依頼を受け、とうほう・みんなのスタジアム会議室において、アンチ・ドーピング研修会を実施しました。

今回は講師にスポーツファーマシストの佐藤善嗣氏を招き、少年男女選手と指導者合わせて20名を対象に講義形式で行われました。佐藤善嗣氏はプレゼンテーションソフトを使用しながら、アンチ・ドーピングに関するクイズを取り入れ、高校生にもわかりやすくお話しくださいました。実際のドーピング検査がどのような検査なのかを初めて聞く選手がほとんどで、真剣な表情で話を聞き、60分の講義がとても短く感じられたようでした。

講義の中で特に強調されていたのが、「自分の体に入れるものには責任をもつこと。」でした。これはアスリートがアンチ・ドーピングについて「しなければならない七つのこと」の一つであり、選手自身やサポートメンバー、チームを守るためにも、とても重要なことであることが理解できました。また、薬やサプリメントに関することは、専門のスポーツファーマシストを活用してほしいと締めくくりました。



県内相談窓口の設置



アンチ・ドーピングリーフレット

アンチ・ドーピング研修会（講師派遣） 実施及び申込み状況（R4.7月時点）

	日時	依頼団体	講師	対象	人数
1	5月5日	県アーチェリー協会	佐藤善嗣	指導者・少年男女	20名
予定	7月24日	県レスリング協会	佐藤善嗣	指導者・少年男女	20名
予定	7月25日	県野球連盟	加藤大樹	指導者・成年男子	16名

※申し込み期間：令和4年5月中旬～令和5年2月中旬